

2007年、ウォータースポーツプロジェクト開幕!! 青少年育成3団体協働事業が誕生

B&G財団、JTU、JLAが青少年育成の ために新たな事業を立ち上げ

6月12日(火)、東京都港区の海洋船舶ビルで、「ウォータースポーツプロジェクト～大自然とスポーツで親子の絆、輝る汗～」の記者発表が行われた。

「ウォータースポーツプロジェクト」は、ブルーシー・アンド・グリーンランド財団(B&G財団)、(社)日本トライアスロン連合(JTU)、内閣府特定非営利活動法人日本ライフセービング協会(JLA)の3団体が、各団体共通の目的でもある“青少年の心と体づくり”、および“自然体験を通じた安全教育”をより広く、大きく、効果的に推進するために立ち上げた新たなプロジェクト。記者発表では各代表者、梶田功B&G財団会長、猪谷千春JTU会長、小峯力JLA会長による挨拶と協定書調印式の後、板倉一寿B&G財団海洋センター支援部長よりスライドを使って「ウォータースポーツプロジェクト」の事業概要が説明された。

この「ウォータースポーツプロジェクト」の目的は、“自然と触れ合いながら安全で正しいスポーツ習慣(トライアスロン+ライフセービング+マリンスポーツ等)を身につけ、子どもの心身の育成や親子の絆を深める”こと。そして実際に行う種目(スイム、バイク、ランのトライアスロン3種目と、セルフレスキューとカヌーを加えた5種目)の主な内容と、指導担当を行う団体が発表された。

トライアスロン3種目についてはJTU、セルフレスキューについてはJLA、カヌーについてはB&G財団から指導者が派遣される。

また、6月3日(日)に秋田県にかほ市象潟B&G海洋センターで試験的に行われた、「象潟チャレンジスポーツ教室」の結果が報告され、スライドには親子や子ども同士で楽しくマリンスポーツ、トライアスロンを練習する様子が映し出された。



左から、川地政夫JLA事業部長、小峯JLA会長、広渡英治B&G財団専務理事、梶田B&G財団会長、猪谷JTU会長、大塚眞一郎JTU常務理事



協定書調印式後に握手を交わす3団体の代表者。左から、小峯力JLA会長、梶田功B&G財団会長、猪谷千春JTU会長

今後は6月24日(日)に兵庫県豊岡市、6月30(土)に滋賀県高島市、7月28日(土)に大分県佐伯市、8月4日(土)に愛媛県松山市の各地海洋センターで開催。来年度以降は、2009年度までの3年間に全国25カ所のB&G海洋センターで開催することを目標に、今年度の開催地5カ所の経験をもとに「プログラムマニュアル」を作成し、各3団体のネットワーク先に配布、各地域の特性にあった内容で全国に普及していく予定。

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー

